

英文學評議

第 XCVI 集

翻訳と評釈

ポーラ・ミーハン「アルテミスの安らぎ」

..... 池田寛子 訳・評釈 … 1

論文

詩を読むとはどのようなことか

— キーツ、ロチェスター伯、フロストを例として —

..... 桂山康司 … 9

京都大学大学院人間・環境学研究科英語部会

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XCVI March 2024

CONTENTS

Translation and Annotation

Paula Meehan, 'The Solace of Artemis'

..... Hiroko IKEDA ... 1

Article

How to Read a Poem: Keats, Earl of Rochester, and Frost in Poetic Parable

..... Kohji KATSURAYAMA ... 9

ENGLISH DEPARTMENT
GRADUATE SCHOOL OF HUMAN AND ENVIRONMENTAL STUDIES
KYOTO UNIVERSITY

『英文学評論』 投稿規定

- (1) 内容：英米文学およびその関連分野に関する論文、翻訳、研究ノート、書評、海外動向、などとし、随想、回顧録の類は除く。
- (2) 投稿資格：京都大学大学院人間・環境学研究科英語部会所属専任教員および本学所属専任教員のうち、経費を継続して分担する者とする。
- (3) 原稿提出：完全原稿で、査読のためのハードコピーを添え、必ず電子媒体（CD など）の形で提出する。日本語論文の場合は、タイトルの英訳を添える。提出の期日は毎年 10 月 31 日とする。
- (4) 分量：注、引用文献リスト等を含め、日本語 20,000 字以内、英語 8,000 語以内を目安とする。
- (5) 体裁：*The MLA Handbook for Writers of Research Papers* を標準とする。日本語の場合は縦書き、横書きいずれも可とする。
- (6) 校正：三校まで。校正段階の大幅な訂正は認めない。
- (7) 編集権：編集委員会が編集権を持つ。
- (8) 著作権：掲載された論文等の著作権は編集委員会に帰属する。掲載論文を単行本に収録する場合は、執筆者から編集委員会あて文書で連絡する。図版・写真等を掲載する場合の著作権取得は執筆者が行い、その費用は執筆者が負担する。

- (9) デジタルアーカイブ化：本誌は刊行後、京都大学附属図書館リポジトリ「紅」に登録され、インターネット上で閲覧可能となる。論文のネット公開を望まない執筆者は、巻号、執筆者名およびタイトルを添えてその旨を京都大学附属図書館に知らせる。
- (10) 抜刷：執筆者用抜刷は30部とする。これを超えて希望する場合は執筆者が実費を負担する。
- (11) 発効：本規程は平成22年9月16日をもって発効する。
- (12) 改訂：本規程の改訂は、投稿資格を有する者の総数の三分の二の同意をもって行う。

編 集 後 記

- ☆ 『英文学評論』第96集をお届けします。ご寄稿いただいた方々に厚くお礼申し上げます。第1集（1954年）発刊から70年、第100集発刊も近づいて参りました。
- ☆ 本年度は廣野由美子先生、桂山康司先生のお二人が退職されることとなります。本誌『英文学評論』にとどまらず、京都大学の英文学の大看板を背負っていらっしゃった両先生がキャンパスから去られることは、一つの時代の終わりの寂しさを感じざるをえません。これまでの先生方の学恩に心より感謝申し上げます。
- ☆ 『英文学評論』の専用ウェブサイトは、その役割を終え、閉鎖されました。論文が紙媒体から電子媒体に移り変わっていく中で、冊子送付廃止に次ぐ改革となりました。ウェブサイトを創設した折にご尽力いただきました前川玲子先生にあらためてお礼を申し上げます。

（編集委員）

英 学 評 論 第96集

非 売 品

令和6年3月7日 印刷

令和6年3月22日 発行

編 集 者 京都大学 大学院人間・環境学研究科 英語部会
編集委員 小島基洋

印 刷 所 株 式 会 社 北 斗 プ リ ン ト 社

京都市左京区下鴨高木町 38-2

発 行 所 京都大学 大学院人間・環境学研究科 英語部会
京都市左京区吉田二本松町